

有限会社港工作所

創業50年以上の金属加工会社

大牟田市で昭和36年に鉱山機械や部品の製作や修理を行う企業としてスタートした有限会社港工作所は、その技術を活かし製品や部品の試作品など「多品種、小ロット」を手がける金属加工会社です。

精密加工を支える二人の社員

取引先からの依頼は100分の1ミリレベルの精密な加工が求められるものが多く、他社でできない加工を持ち込まれることもよくあるそうです。

また、扱う素材も様々でそれらの特性により加工の仕方も変わってくるため、加工には相当な技術力と知識が要求されるそうです。

このような加工になくてはならないのが、現在60歳を超える2名の社員の方々です。

同社では数年前に定年を60歳から65歳に引き上げました。小宮工場長によると「我が社でもコンピューターによる加工が主流になっていますが、お二人の加工技術はコンピューターを超えるいわゆる『匠』の技術であり、この会社にとって貴重な財産」と話されました。



精密な加工を行うには匠の技術力が必要。



工に関する知識は相当なもので、若手社員だけでなく中堅社員からも相談があるほど。お二人は社員の将来の目標としてみられているようです。そう思われるのは、確固たる技術、知識があるから。お二人からは「自分には簡単な仕事は持ってこないように。難しい仕事を持ってきて」と言われているそうです。同社としてはこれからの課題として「お二人の熟練技術を若手に伝承していくこと」をあげられていました。

これまで日本の精密加工技術を支えてきたのは従業員規模もが少ないいわゆる町工場でした。しかし近年こうした企業が後継者不在などの理由により廃業するなどして、技術伝承ができなくなってきました。このような中で匠の技術を持つ社員を有する同社の役割は今後ますます重要なものとなってくるでしょう。



永年にわたり培ってきた技術を若い従業員に伝承。

定年延長で高度な技術を活用、伝承

金属加工の技術を習得するのに10年から15年かかる中で、お二人の長年の経験に基づく技術や素材加

有限会社港工作所 プロフィール

- 所在地／大牟田市
- 業種／製造業(金属加工)
- 会社設立年／1961年
- 従業員数／20人
- 最高年齢者／65歳
- 高齢者雇用制度／65歳定年(65歳以降についても社員の意欲、能力に応じて会社が認めた場合は雇用)

年 齢	～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～
人 数	10	2	4	2	1	1	0